

第16回マイクロマシン展開催される

第16回マイクロマシン展が、2005年11月9日～11日の3日間、東京・北の丸公園の科学技術館において、第11回国際マイクロマシン・ナノテクシンポジウムと併催する形で開催され大盛況で終了いたしました。

今回のテーマは、「最注目技術、マイクロ・ナノが次世代ビジネスを切り拓く！ / 超精密・微細加工、MEMS、ナノテク、バイオに関する国際展示会」としました。

出展者は、財団法人マイクロマシンセンターの賛助会員企業10社をはじめ、一般企業、大学及び独立行政法人等からの積極的な出展協力を得て、合計259の企業・団体・大学・研究機関が出展（362小間）を行いました。海外からは、フランス国立科学センターと15企業が出品しました。

この出展者及び出展小間数の増加に伴い、マイクロマシン展の展示会場として昨年と同様科学技術館一階の全ホール準備室及びラウンジの一部に加え、2階の一部も使用して開催しました。

また、今回は新たに海外3社を含む38の企業・団体の展示参加を得て、マイクロマシンおよびナノテクノロジーに関する多数の新技术・新製品が発表されました。

来場者は、第11回国際マイクロマシン・ナノテクシンポジウム及びMEMS用設計・解析支援システム「MEMS - ONE」プロジェクト中間成果発表会を同時に開催したこともあって、様々な分野で活躍している第一線の研究者、技術者及び管理者など幅広く、他分野での研究情報の集積や相互に意見を交換するなど、情報交換によって新たな技術の可能性の発見、

あるいは技術開発上での様々な課題解決の糸口を得るための最適の場となり、3日間で過去最高9,098名に上る多数の来場者を得て盛況裡に終了しました。

一般展示の主な出展品目は、マイクロマシン、そのコンポーネント及び応用システム、MEMS（微小電気機械システム）、MEMS製造装置・設計ツール、ナノテクノロジー、ナノテク材料、その他材料、バイオテクノロジー・医療関連、評価・計測機器などで、機械・精密機械、電機・電子、医療、情報通信、自動車・輸送、生物、物理、化学、建築、鉄鋼、航空宇宙、船舶・海洋などのあらゆる産業分野において、研究開発、技術、設計、生産・製造、経営・管理に携わる方々のための専門展示会となっています。

マイクロマシンの研究開発に係わる企業にとっては、技術、装置、製品をPRするための機会、大学や研究機関等にとっては、研究成果の発表の機会、また、新規参入の企業にとっては、製品・技術発表のための絶好の機会となっています。

次回第17回マイクロマシン展の開催予定

会期：2006年11月7日（火）～11月9日（木）

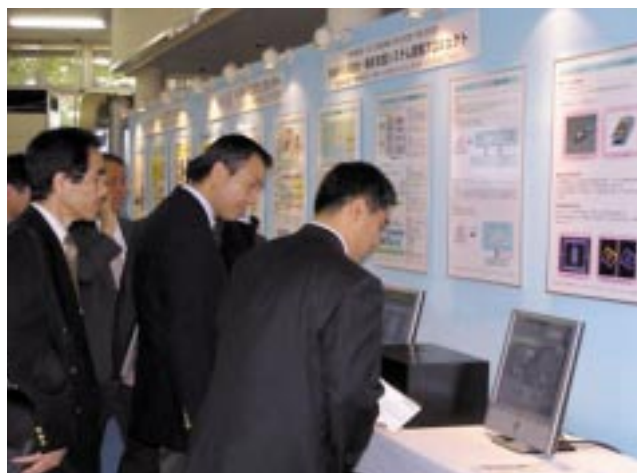
会場：東京国際フォーラム（東京・有楽町）

問い合わせ先：メサゴ・メッセフランクフルト(株)

TEL：03-3262-8441 FAX：03-3262-8442

E-mail：info@micromachine.jp

URL：http://www.micromachine.jp



見学者で賑わう会場



懇親会の状況